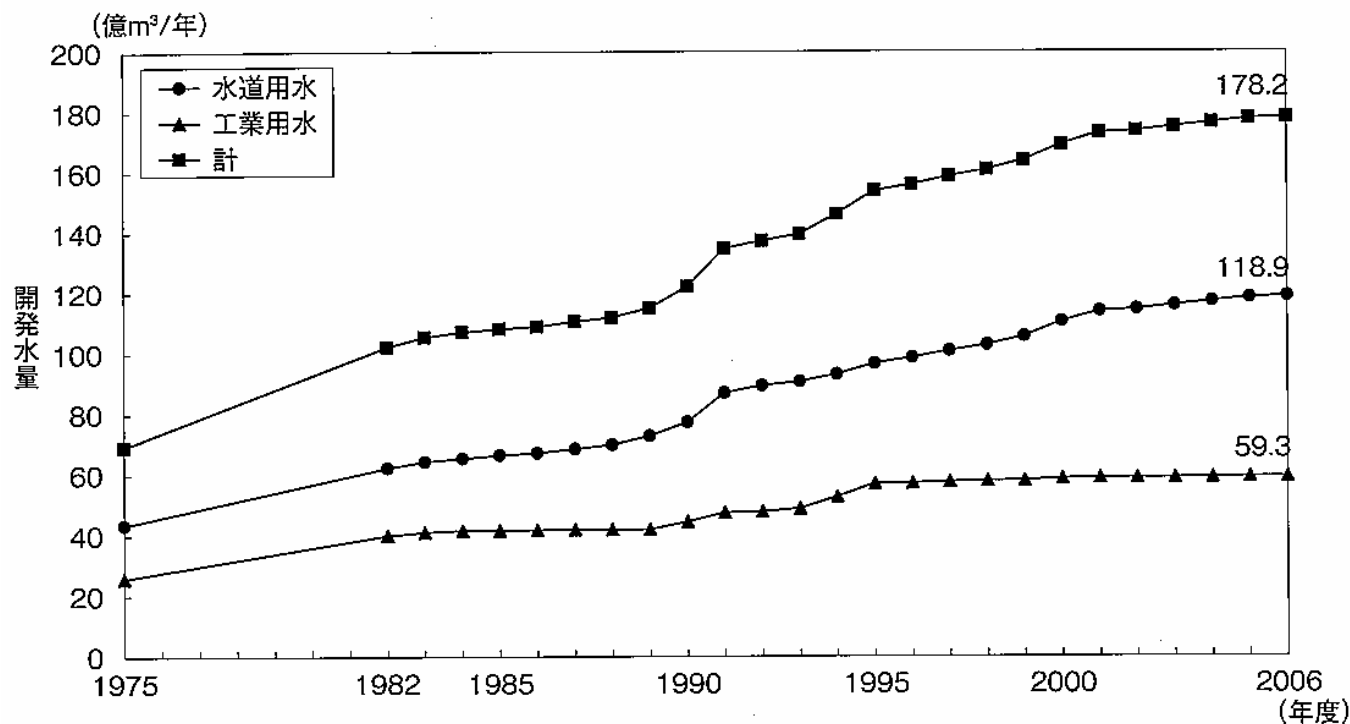


レビュー(災害対策等の充実)

【主要施策2】地域特性を踏まえた渇水対策の推進

【施策目標】すべての事業で地域の実情に応じた給水安定度を確保

水資源開発施設による都市用水の開発水量



(注) 1. 国土交通省水資源部調べ

2. 開発水量 (億m³/年) は、開発水量 (m³/s) を年量に換算したものに負荷率を乗じて求めた。
負荷率 (一日平均給水量/一日最大給水量) は、ここでは5/6とした。

出典:日本の水資源(平成19年度版、国土交通省 土地・水資源局水資源部)

近年、都市用水の開発水量の伸びは漸増傾向にある

レビュー(災害対策等の充実)

【主要施策2】地域特性を踏まえた渇水対策の推進

【施策目標】すべての事業で地域の実情に応じた給水安定度を確保

水資源開発基本計画による開発水量の現状(2007.3末現在)

(単位: m³/s)

水系名	水系指定年月日	前基本計画までの開発水量	現行基本計画							現在までに開発した水量	開発予定水量(前基本計画までの分を含む)	開発予定水量の進捗率
			目標年度	計画供給目標量	供給施設による開発水量			差				
					完了等	建設中等	その他					
		①		②	③ (④+⑤)	④	⑤	⑥	⑦ (②-③-⑥)	⑧ (①+④)	⑨ (①+④+⑤)	⑩ (⑧/⑨)
利根川	昭和37年4月27日	87.0	[4次計画]			87.4	24.6	1.7		174.4		
荒川	昭和49年12月24日	(14)	平成12年	170.0	112.0	(21)	(11)	(2)	56.3	(35)	199.0	88%
豊川	平成2年2月6日	3.0	[2次計画]			0.0	0.5	-	-	3.0		
		(2)	平成27年	0.5	0.5	(0)	(2)			(2)	3.5	85%
木曽川	昭和40年6月25日	75.5	[4次計画]			0.0	6.6	-	-	75.5		
		(7)	平成27年	6.6	6.6	(1)	(1)			(8)	82.1	92%
淀川	昭和37年4月27日	30.8	[4次計画]			47.4	7.5	0.8		78.3		
		(7)	平成12年	60.0	54.9	(7)	(6)	(2)	4.3	(14)	85.7	91%
吉野川	昭和41年11月18日	35.1	[3次計画]			0.0	0.0	-	-	35.1		
		(7)	平成22年	-	-	(0)	(1)			(7)	35.1	100%
筑後川	昭和39年10月16日	15.2	[4次計画]			0.0	2.8	-	-	15.2		
		(8)	平成27年	2.8	2.8	(0)	(6)			(8)	18.0	85%
計		246.6				134.9	42.0	2.5		381.5		
		(45)		239.9	176.9	(29)	(27)	(4)	60.5	(74)	423.4	90%

安定した水源確保のため、水源施設の建設促進及び渇水等を考慮した水量の確保が望まれる

- (注) 1. 国土交通省水資源部調べ
 2. 「開発水量」は、上水、工水の最大取水量、農水の夏期かんがい期平均(豊川水系は年間平均水量)の水量の合計である。
 3. 「計画供給目標量」は、基本計画の策定時における新規開発水量である。
 4. 「供給施設による開発水量」は、基本計画の策定後における個別事業の変更を反映している。
 5. 利根川・荒川水系における「供給施設による開発水量」には、広桃用水合理化分としての水量 $3.0\text{m}^3/\text{s}$ を含む。
 6. 「完了等」には概成している事業も含む。(概成とは、施設は完成しているが、事業費が償還中である施設のことを示す。)
 7. 「建設中等」は、建設中または建設予定の事業を示す。
 8. 「その他」は、中止等の扱いがなされている事業を示す。
 9. 「差」は、「計画供給目標量」と「供給施設による開発水量」の差であり、現行基本計画の策定時に未掲上の事業により供給することとしていた水量のほか、同基本計画策定後に削除された事業による開発水量等の合計である。
 10. 改築事業を含めた事業数や水量も併せて集計しており、表中の()の数字は事業数である。
 11. 表中の水量は、便宜上小数点第一位まで記しており、四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。